

令和5年8月28日

報道機関各位

長岡市立中央図書館長



～長岡復興の恩人・三島億二郎の日記をひもとく～ 「長岡市史双書を読む会」を開催

このたび、市の歴史に関する文書の保存や調査・研究の相談などを行う「れきしぶんしょかん歴史文書館」で、北越戊辰戦争後の長岡復興に尽力した三島億二郎の日記を収録した長岡市史双書をテキストに、昔の長岡のすがたを読み解く講座を開催します。

つきましては、下記のとおり概要をお知らせしますので、参加者募集の周知にご協力いただきますとともに、ぜひ当日取材くださるようお願いします。

長岡市史双書を読む会

- 日時** 9月1日（金）・15日（金） 午後2時～4時（全2回）
- 会場** 長岡市歴史文書館
（長岡市長倉西町458番地7（旧サンライフ長岡））
- 定員** 60人（先着）
※受付期間：8月31日（木）まで
8月28日現在、45人の申し込みがあります。
- 講師** 第1回：歴史文書館館長
第2回：古田島 吉輝 氏
（長岡戦災資料館顧問、長岡郷土史研究会会員）
- 内容** 長岡市史双書No.40『三島億二郎日記(4)－北海道拓殖の記－』をテキストに、三島億二郎とその理念に共感して北海道開拓に取り組んだ近代長岡の人びとのすがたを探ります。
- 受講料** 無料（テキスト代1,500円）

※詳細は別紙チラシを参照ください。

問い合わせ：歴史文書館 田中、岡田
TEL 0258-36-7832

令和5年度 長岡市史双書を読む会

三島億二郎日記(4) —北海道拓殖の記—



▲「日誌」明治22年12月23～26日付部分
(山古志・長倉に赴き、村人へ移住の勧誘を行う)

長岡市史双書をテキストに、昔の長岡のすがたを読み解く講座です。

長岡復興の恩人、三島億二郎。今回は長岡市立中央図書館が所蔵する日記(長岡市指定文化財)から、開拓事業に奔走する最晩年の億二郎と、彼の思いに賛同し、北海道へ移住した長岡の人びとのすがたに迫ります。

【会場】 長岡市歴史文書館 1階 講座室

【時間】 午後2時～4時

【期日・講座タイトル・講師】

回数	期日	講座タイトル	講師
第1回	9月1日(金)	「三島億二郎日記」を読む —近代長岡の人びとの北海道移住—	長岡市歴史文書館 館長 田中 洋史
第2回	9月15日(金)	厳冬の野幌開拓地を護る	長岡郷土史研究会 会員 古田島吉輝

【受講料】 無料 (テキスト代1,500円)。

テキストは長岡市史双書No.40『三島億二郎日記(4)—北海道拓殖の記—』(再版)を使用します。お持ちでない方は初回到領布代金1,500円をご持参ください(お釣りのないようお願いします)。

【定員】 60名(先着) ※1回のみ参加も可能です。

【申し込み】 受付期間：8月4日(金)～8月31日(木)
電話もしくは直接来館にてお申し込みください。

【申し込み先】 長岡市歴史文書館 (休館日…日曜日・月曜日・祝日)

〒940-0849 長岡市長倉西町458-7

電話 0258-36-7832